



令和7年2月4日（火）
 香川県養蜂組合 組合長 中田 茂富
 TEL 087-881-3457 携帯 090-8691-0080

ほうこんさい

蜂魂祭(みつばち供養祭)が開催されます!!

みつばちはハチミツやローヤルゼリーなど栄養・健康食品の生産に広く利用されています。
 また、みつばちが花粉を運ぶことで、形の良いおいしい果実や野菜の種を作ります。
 みつばちの働きのおかげで、私たちは毎日の食卓を彩ることができるのです。
 香川県養蜂組合では、毎年、この季節に、みつばちの恩恵に感謝して、「蜂魂祭（みつばち供養祭）」を行っています。今回で44回目となります。

1 日時：令和7年（2025年）2月7日（金）10時～10時30分

2 場所：^{ほうこんひ}蜂魂碑前（高松市国分寺町新居）

3 主催：香川県^{ようほう}養蜂組合
 組合員数18名
 TEL087-881-3457
 組合長 中田 茂富



4 蜂魂祭（みつばち供養祭）式次第
 ○開会の辞 ○読経 ○焼香 ○閉会の辞

（参 考）

○蜂魂碑の碑文



○場所略図



○碑文の意味

「花に訪れるみつばちたちにより、自然は尽きることが無い」

※前川忠夫元香川県知事 揮毫

裏面あり

建立文「愛蜂に捧ぐ」

<p>昭和五十五年一月八日 香川県養蜂組合</p>	<p>ここに碑を建立する</p>	<p>我等農にいそしむ者 養蜂を</p>	<p>に還り給えと祈る</p>	<p>葉の陰に そして静かに自然</p>	<p>蜜峰よ眠り給え花の影に</p>	<p>何物に例えようか</p>	<p>して尊厳なるその姿はこれを</p>	<p>厭うことなく勤勞する崇高に</p>	<p>し管農の犠牲となるも なお</p>	<p>管々辛苦し一糸乱れず団結</p>	<p>生命と生活を潤す</p>	<p>に貢献 蜜と乳を貯え人類の</p>	<p>訪れて媒介に励み農産物増収</p>	<p>天の使命を体し地に咲く花を</p>	<p>愛蜂に捧ぐ</p>
-------------------------------	------------------	--------------------------	-----------------	----------------------	--------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	--------------

➤ みつばち一口メモ

- ・みつばちは社会性昆虫ともいわれ、育児・採蜜等を役割分担しており、ダンスで情報を伝達することが知られています。
- ・県内ではセイヨウミツバチとニホンミツバチが飼育されており、セイヨウミツバチは花粉交配と採蜜の能力に長け、ニホンミツバチは天敵のスズメバチと戦う能力を持っています。
- ・平成 25 年 1 月から改正養蜂振興法の施行により、1 群以上のみつばちを飼育する者は知事への届出が必要となり、趣味でニホンミツバチを飼育する人も届出対象となりました。
- ・香川県では「蜜蜂飼育の手引き」を作成し、適切な飼育に努めるよう周知しています。

➤ みつばちからの贈りもの

- ・花の種類によってハチミツの色や味、風味に特徴がでます。県内では桜、ミカン、アカシア、ビワ等の個性豊かなハチミツや野山の多種の蜜が集められた「百花蜜」が生産されています。

➤ 香川県のみつばち農家戸数、飼養群数及び生産量の推移 (戸、群、kg)

	農家戸数	飼養群数	はちみつ生産量
昭和 60 年調査	61	7,540	78,700
平成 10 年調査	37	4,694	38,200
平成 20 年調査	31	3,777	25,976
平成 25 年調査	129	3,716	35,000
平成 30 年調査	113	3,128	50,000
令和 5 年調査	176	3,544	15,000
令和 6 年調査	179	3,699	—

※平成 24 年までは養蜂業者からの届出、平成 25 年からは改正養蜂振興法に基づき 1 群以上のみつばちを飼育する者の届出集計

➤ 農作物の花粉交配で活躍

- ・みつばちの花から花への訪花行動によって花粉交配が行われます。県内野菜で産出額 1 位のイチゴの生産はもちろん、タマネギ等の種子を取るためにもみつばちが活躍しています。みつばちは農産物の安定供給、大量生産に必須のパートナーです。

➤ 「もし地球上からハチが消えたら、人間は 4 年しか生きられない」 by アイシュタイン

- ・2011 年の国連環境計画報告書では、「世界の食糧の 90%をまかなう 100 種類の作物のうち、70 種以上は蜜蜂が授粉を媒介している」と報告されています。
- ・県内産のハチミツやイチゴを召し上がる際は、みつばちの活躍について、思いを寄せていただけるよう、取材していただけると幸いです。